

広域連携推進特別委員会

日時 令和6年9月19日（木）
午前10時
場所 八戸市議会 第一委員会室

1 他圏域における特徴的な取組について

資料1

2 連携中枢都市圏の形成に関する講演会について

資料2

【配付資料】

資料1 他圏域における特徴的な取組について

資料2 連携中枢都市圏の形成に関する講演会について

かごしま連携中枢都市圏の取組

圏域形成に至った経緯

- 昭和47年10月に広域市町村圏協議会が3市12町4村で発足。平成23年末解散時の構成市町村である4市2村で24年5月に定住自立圏にかかる研究会を発足。経済的結びつきの強い近隣3市と平成29年1月に連携協約を締結し、3月にかごしま連携中枢都市圏ビジョンを策定した。



今後の展開

- 令和5年3月に策定した第2期かごしま連携中枢都市圏ビジョンに基づき、新規連携事業の検討を行い、更なる圏域経済の活性化や公共サービスの拡充を目指し、連携中枢都市圏の取組の着実な推進を図る。
- 市長会議や有識者で構成するビジョン懇談会等を通じて、連携市や圏域住民のニーズを把握し、ビジョンへの反映を協議。連携事業のフォローアップと事業の拡大・推進に取り組む。

圏域全体の経済成長のけん引

合同企業面談会の開催

圏域内の人材確保や雇用機会の拡大を図るため、圏域内の企業の雇用情報を一体的に求職者に提供する合同企業面談会を開催。



圏域全体の生活関連機能サービスの向上

図書館の広域利用

圏域内の住民であれば各市立図書館等(24)・約163万冊の図書の貸出・返却ができる仕組みを構築。

かごしま移住支援・プロモーション

圏域への移住促進を図るため、4市それぞれの特色や移住者への支援策など移住に関連する情報を集約したパンフレットを作成するとともに、オンラインによる合同移住セミナー・相談会を開催。



出会いサポートイベントの開催

結婚を希望する人たちの出会いと交流の場を提供するイベントとして、圏域内におけるプチ運動会 & カジュアルパーティーなどの婚活イベントを開催。



グリーン・ツーリズム体験ツアー

圏域の豊かな農村資源を活用し、観光や農業体験をセットにしたツアーを実施。



高次の都市機能の集積・強化

広域的な都市基盤の整備

中心市街地の再開発を支援し、都市機能の集積・強化を図るとともに、にぎわいとゆとりある都市空間の創出を図るため、歩いて楽しめるまちづくりを推進。



ふくしま田園中枢都市圏の取組

圏域形成に至った経緯

- ・福島市を中心とした福島圏域においては、通勤・通学をはじめ、観光や農業等の交流が盛んに行われてきており、平成30年11月には、自治体連携の枠組みとして「福島圏域連携推進協議会」を設立し、広域連携の取り組みを進めてきた。
- ・南東北の要の都市圏としてさらなる発展を目指すため、令和4年3月30日に福島市と8市町村とで「ふくしま田園中枢都市圏」を形成し、ビジョンを策定した。

今後の展開

- ・それぞれの市町村の強みや特長等を生かしながら、圏域住民には「暮らしやすい、住み続けたい」と思ってもらうとともに、圏域外の人には「住んでみたい」と思ってもらえるような魅力あふれる都市圏を目指す。
- ・東日本大震災からの復興はまだ道半ばであり、県都福島市を有する圏域として、充実した道路ネットワーク等を活用して復興創生をさらに推進し、本県の復興創生をけん引する。



圏域全体の経済成長のけん引

広域観光の推進

圏域の風評払拭、圏域への誘客拡大及び交流人口の増加を図り、地域経済の活性化につなげるため、豊富な観光資源を活用した体験型・滞在型旅行商品の造成や、広域連携による誘客プロモーション、周遊促進事業等に取り組む。



中小企業や新規創業者の支援

新たなビジネスの創出や新規取引の拡大を図ることを目的としたマッチングイベント等を開催し、圏域内企業のサプライチェーンの強化を図るとともに、圏域内企業全体のグレードアップを目指す。



高次の都市機能の集積・強化

福島駅東口地区市街地再開発事業

連携中枢都市である福島市の中心市街地において、福島駅東口地区市街地再開発事業により、商業や街なか居住等の都市機能の充実、賑わいの創出、交流人口の拡大などを図る。

圏域全体の生活関連機能サービスの向上

圏域産農産物の風評払拭・消費拡大事業

圏域産農産物の風評被害の払拭と消費拡大を図るため、圏域内にある道の駅や直売所等の連携事業や、市町村連携による首都圏等での圏域産農産物・特産品のトップセールスや販売イベント等に取り組む。



出会いの場の創出・移住定住の促進

結婚に対する意識の向上を図り、将来的な移住定住・人口増加につなげるため、出会いの場を創出するイベントを開催する。また、圏域市町村の魅力や暮らし、住まいや仕事などの情報発信を行うとともに、移住イベント等を開催する。



合同職員研修会等の開催

圏域内職員の交流と行財政経営能力の向上を図るため、福島市が合同職員研修会等を開催する。

※政策課題研修で提案のあった「子育て施設周知・周遊事業」は令和5年度に実施。LINEアカウント「あそびば みつけ！」を開設。



連携中枢都市圏の形成に関する講演会について

1 連携中枢都市圏の形成に関する講演会の概要について

- (1) 目 的 連携中枢都市圏の意義や先行する他団体の取組等について、理解と認識を深めること。
- (2) 主 催 八戸市
- (3) 対 象 圏域市町村の議会議員、市町村長、圏域住民、自治体職員等

2 第30回講演会の開催報告について

- (1) 開催日 令和6年7月29日(月)
- (2) 会 場 アピル五戸(五戸町)
- (3) 参加者 圏域市町村の議会議員、市町村長、自治体職員等 計152名
- (4) 内 容 演 題：活力ある多様な地域社会の実現に向けて
講 師：海老原 諭 氏
(内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局長)

※ 講演会終了後は同会場にて交流会を開催(参加者：85名)



【海老原氏による講演の様子】

3 第31回講演会の開催予定について

- (1) 開催日 令和7年1月15日(水)
- (2) 会 場 ハートフルプラザ・はしかみ(階上町)

※ 時間、演題・講師については現在調整中

※ 講演会終了後は交流会を開催予定



【交流会の様子】